

平成 26 年 11 月 16 日 (日) 施行

第 138 回 日商簿記検定試験 3 級 解説

第 1 問

1. $¥2,000,000 \times (98.50 / 100) = ¥1,970,000$
2. 耐用年数 5 年(60 ヶ月)のうち、取得から売却まで 2 年 4 ヶ月(28 ヶ月)経過しているので、減価償却累計額は $¥150,000 \times (28 \text{ ヶ月} / 60 \text{ ヶ月}) = ¥70,000$
よって売却時帳簿価額は $¥150,000 - ¥70,000 = ¥80,000$
これを $¥20,000$ で売却しているので固定資産売却損 $¥60,000$ である。
3. 利息相当額 : $¥511,000 \times 3\% \times (50 \text{ 日} / 365 \text{ 日}) = ¥2,100 \rightarrow$ 手形売却損
4. ①商品の販売

(借) 受取手形	150,000	(貸) 売上	350,000
売掛金	200,000		
- ②運賃のうち当店負担分を発送費、長崎商店負担分を売掛金に計上する。

(借) 売掛金	6,000	(貸) 当座預金	12,000
発送費	6,000		
- ①と②の仕訳を合わせる。
5. 売却代金のうち $¥10,000$ の他店商品券勘定、 $¥2,000$ は商品券勘定で処理する。

第 2 問

問(1) 商品の受入、払出の計算は以下のとおり。

10 月 10 日 前期繰越分 200 個 (@ $¥1,200$) のうち 150 個が払い出される。

売価 : $150 \text{ 個} \times @¥2,000 = ¥300,000$

原価 : $150 \text{ 個} \times @¥1,200 = ¥180,000$

10 月 20 日 移動平均法より、単価の再計算をする。

$$\frac{50 \text{ 個} \times @¥1,200 + 450 \text{ 個} \times @¥1,190}{50 \text{ 個} + 450 \text{ 個}} = @¥1,191$$

残高は $500 \text{ 個} \times @¥1,191$

10 月 25 日 500 個 (@ $¥1,191$) のうち 280 個が払い出される。

売価 : $280 \text{ 個} \times @¥2,020 = ¥565,600$

原価 : $280 \text{ 個} \times @¥1,191 = ¥333,480$

10 月 31 日 時期繰越分 220 個 (@ $¥1,191$)

問(2)

	売上高	売上原価	売上総利益
10 月 10 日	¥300,000	¥180,000	¥120,000
10 月 25 日	¥565,600	¥333,480	¥232,120
合計	¥865,600	¥513,480	¥352,120

第3問

(B) 平成26年1月中の取引

1. 現金に関する取引

①	(借) 現 金	25,000	(貸) 前 受 金	25,000
②	(借) 現 金	36,000	(貸) 売 掛 金	36,000
③	(借) 現 金	100,000	(貸) 当 座 預 金	100,000
④	(借) 仮 払 金	15,000	(貸) 現 金	15,000
⑤	(借) 水道光熱費	4,000	(貸) 現 金	5,000
	資 本 金	1,000		

※⑤ $¥5,000 \times 20\% = ¥1,000$ (家計負担分)

2. 当座預金に関する取引

①	(借) 当 座 預 金	130,000	(貸) 受 取 手 形	130,000
②	(借) 当 座 預 金	250,000	(貸) 売 掛 金	250,000
③	(借) 仕 入	130,000	(貸) 当 座 預 金	130,000
④	(借) 買 掛 金	200,000	(貸) 当 座 預 金	200,000
⑤	(借) 支 払 手 形	120,000	(貸) 当 座 預 金	120,000
⑥	(借) 現 金	100,000	(貸) 当 座 預 金	100,000
⑦	(借) 給 料	145,000	(貸) 当 座 預 金	130,000
			預 り 金	15,000

※⑥は1. 現金に関する取引③と同一取引なので取消

3. 仕入に関する取引

①	(借) 仕 入	130,000	(貸) 当 座 預 金	130,000
②	(借) 仕 入	33,000	(貸) 支 払 手 形	33,000
③	(借) 仕 入	260,000	(貸) 買 掛 金	260,000
④	(借) 仕 入	50,000	(貸) 前 払 金	50,000
⑤	(借) 買 掛 金	4,000	(貸) 仕 入	4,000

※①は2. 当座預金に関する取引③と同一取引なので取消

4. 売上に関する取引

①	(借) 受 取 手 形	158,000	(貸) 売 上	158,000
②	(借) 売 掛 金	360,000	(貸) 売 上	360,000
③	(借) 売 上	10,000	(貸) 売 掛 金	10,000

5. その他の取引

①	(借) 支 払 家 賃	60,000	(貸) 前 払 家 賃	60,000
②	(借) 買 掛 金	150,000	(貸) 受 取 手 形	150,000
③	(借) 貸 倒 引 当 金	6,000	(貸) 売 掛 金	6,000

第4問

仕入、売上の取引に対して入出金伝票と振替伝票のみなので3伝票制であるとわかる。

(1) この取引の仕訳は以下のとおり

(借) 仕	入	220,000	(貸) 現	金	20,000
				買	掛
				金	200,000

振替伝票にはすでに¥220,000と記入されているので、一旦掛仕入の処理をしたとして以下のよう
に分解して記入する

【振替伝票】

(借) 仕	入	220,000	(貸) ②	買	掛	金	220,000
-------	---	---------	-------	---	---	---	---------

【出金伝票】

(借) 買	掛	金	20,000	(貸) 現	金	①	20,000
-------	---	---	--------	-------	---	---	--------

(2) この取引の仕訳は以下のとおり

(借) 現	金	50,000	(貸) 売	上	350,000
	売	掛	金	300,000	

入金伝票の科目欄に売上と記入されているので、売上に対して現金と売掛金それぞれの処理をし
たとして以下のように分解して記入する

【入金伝票】

(借) 現	金	③	50,000	(貸) 売	上	50,000
-------	---	---	--------	-------	---	--------

【振替伝票】

(借) ④	売	掛	金	300,000	(貸) 売	上	⑤	300,000
-------	---	---	---	---------	-------	---	---	---------

第5問

決算整理事項等

1. 現金の実際有高は $\text{¥}236,000 + \text{¥}22,000 = \text{¥}258,000$ → 現金過不足(借方) $\text{¥}1,000$

(借) 現金過不足	1,000	(貸) 現金	1,000
-----------	-------	--------	-------

現金過不足を雑損へ振り替える。

(借) 雑損	1,000	(貸) 現金過不足	1,000
--------	-------	-----------	-------

なお、得意先の振出手形については、「現金以外のものも含まれているが正しく処理されている」とあるので、これは処理済である。

2. 仮受金の処理

(借) 借入金	56,000	(貸) 売掛金	56,000
---------	--------	---------	--------

3. 貸倒引当金の設定

受取手形残高： $\text{¥}180,000$ 、売掛金残高： $\text{¥}476,000 - \text{¥}56,000$ (※2) = $\text{¥}420,000$

$(\text{¥}180,000 + \text{¥}420,000) \times 3\% = \text{¥}18,000$

差額補充法より、貸倒引当金繰入額は $\text{¥}18,000 - \text{¥}7,000 = \text{¥}11,000$

4. 売上原価の計算

(借) 仕入	192,000	(貸) 繰越商品	192,000
繰越商品	205,000	仕入	205,000

売上原価： $\text{¥}192,000 + \text{¥}2,960,000 - \text{¥}205,000 = \text{¥}2,947,000$

5. 消耗品の処理

(借) 消耗品	2,000	(貸) 消耗品費	2,000
---------	-------	----------	-------

消耗品費： $\text{¥}23,000 - \text{¥}2,000 = \text{¥}21,000$

6. 備品の減価償却

$\text{¥}600,000 / 6 \text{年} = \text{¥}100,000 / \text{年}$

(借) 減価償却費	100,000	(貸) 減価償却累計額	100,000
-----------	---------	-------------	---------

減価償却累計額： $\text{¥}200,000 + \text{¥}100,000 = \text{¥}300,000$

7. 利息の処理

1年間の利息額： $\text{¥}300,000 \times 4\% = \text{¥}12,000$

決算整理前残高試算表によれば貸付時に受け取った際全額受取利息として処理しているが、このうち、8ヶ月分は来期に相当するものなので繰り延べる。

(借) 受取利息	8,000	(貸) 前受利息	8,000
----------	-------	----------	-------

受取利息： $\text{¥}12,000 - \text{¥}8,000 = \text{¥}4,000$

8. 給料の未払い

(借) 給料	9,000	(貸) 未払費用	9,000
--------	-------	----------	-------

給料： $\text{¥}305,000 + \text{¥}9,000 = \text{¥}314,000$

9. 家賃の前払い

(借) 前払家賃	90,000	(貸) 支払家賃	90,000
----------	--------	----------	--------

支払家賃： $\text{¥}450,000 - \text{¥}90,000 = \text{¥}360,000$

損益計算書より、当期純利益： $\text{¥}271,000$